

このコーナーでは、地域のために一歩を踏み出し、地域の特色を活かした活動をしている団体を紹介합니다。



子育て中のお母さんの幸せを応援します。 特定非営利活動法人はびままクローバー

●きっかけは？

御調町には、平成12年から活動している子育てサークル、オープンスペース「0123みつぎ」があります。そこを卒業した先輩ママたちが、「これから子育てをがんばるお母さんを応援しよう！」と立ち上がり、平成25年に子育て支援のNPO法人はびままクローバーを発足しました。自分たちの子育て経験から、お母さんのハッピーが周りの幸せにつながると感じ、子育て支援は、子どもの育ちの支援だけでなく家族・仕事・自分らしさ・地域とのつながりなどを含めたお母さんの人生をサポートする、「お母さんの幸せを応援する」ことと考えました。

●どんなことをしていますか？

現在の主な活動は、地域の子育て支援の拠点である「みつぎ子育て支援センターみっけ」の運営です。平成26年7月に御調支所に併設の御調文化会館1階に開館しました。

「みつぎ子育て支援センターみっけ」では、親子遊び、子育てに関する講座や相談、情報提供を行っています。初めての子育てに不安を感じるお母さんが赤ちゃんの成長や離乳食などの相談をされたり、近所に遊べる子どもがいない親子が他の子どもたちと一緒に遊んだり、家で子どもとだけ過ごす毎日にストレスを感じるお母さんが他のお母さんやスタッフとおしゃべりしてほっと一息ついたりする場になっています。

オープンに向けて、会員の皆さんと地域の子育て中の親子に呼びかけて、清掃・看板作りに取り組み施設を作り上げました。センターの愛称「みっけ」も皆さんにアイデアを出してもらい投票で決めました。



その他の活動では、親子がふれあって楽しむ御調地区健康福祉展での「ちょこっと縁日」や、御調地区文化祭時に「秋の木の実であそぼう！」などを行いました。尾道市の健康診査時の託児活動や中学生の職場体験の受入れなども行い、地域とのつながりを大切に取り組んでいます。また親の支援が少ない思春期の子育てを応援する「不登校を考える親の会」も昨年8月から毎月1回行っています。



●よかったことは？

以前は子育ての拠点がなく、子育ての悩みをどこに相談したら良いか分からず困ったという声がありました。気軽に相談できる場所ができた事は、地域のお母さんたちにとって大きな安心感になっていると思います。子育て支援機関とも連携の取れた支援体制が出来てきました。子育ての仲間作りも広がり、お母さんたちの演奏グループも生まれました。



●これから…

子育てが孤立化し、負担を感じているお母さんが多いと言われている中、子育ての応援団としての活動を継続しながら、お母さん自身も自分らしく生きることができるよう、就労支援などの取り組みも必要と感じています。地域の皆さんと一緒に、地域の子育てを支えていきたいと思っています。よろしくお願いします。

☎みつぎ子育て支援センターみっけ(木村)
(月・水・金曜 9:00~16:00 ☎0848-76-0888)

地域の特色を活かした活動をしている人や団体をご存知の人は、情報をお寄せください。皆さんから寄せられた情報をもとに取材し、広報等で紹介していく予定です。

☎政策企画課(☎0848-38-9435) ✉kikaku@city.onomichi.hiroshima.jp